

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 日本精鉱
 コード番号 5729 URL <http://www.nihonseiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩山 統
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 企画管理部長 (氏名) 鳩川 勝美
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 03-3235-0021

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	6,457	—	78	—	70	—	△93	—
20年3月期第3四半期	7,447	12.8	670	△4.5	653	△7.2	239	△13.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△7.27	—
20年3月期第3四半期	18.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	6,869	3,454	50.3	274.09
20年3月期	7,265	4,474	51.2	286.81

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 3,454百万円 20年3月期 3,721百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
21年3月期	—	4.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	2.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	△23.3	△345	—	△350	—	△380	—	△29.39

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 13,029,500株 20年3月期 13,029,500株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 424,019株 20年3月期 53,507株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 12,931,397株 20年3月期第3四半期 12,981,861株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、3ページ【定性的情報・財務諸表】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考) 平成21年3月期第3四半期(3ヶ月)の連結業績
(平成20年10月1日～平成20年12月31日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(3か月)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	1,603	—	△208	—	△215	—	△142	—
20年3月期第3四半期	2,592	—	210	—	203	—	69	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	△11	10	—	—
20年3月期第3四半期	5	33	—	—

(注) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の運用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。従いまして、20年3月期第3四半期につきましては参考数値であり、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間においては、昨年9月の米国のリーマン・ブラザーズの経営破綻を契機に米国のみならず、欧州はじめ全世界の金融市場が大きな混乱に陥りました。

この金融市場の混乱は実体経済にも波及し、わが国経済においても需要の減退に円高が相俟って、それまで景気を牽引してきた輸出が落ち込み、景気の後退色が鮮明になってまいりました。

当社グループを取り巻く事業環境も世界的な景気減速の影響を受け、アンチモン事業、金属粉末事業とも販売数量の大幅減少を余儀なくされ、当第3四半期連結会計期間（3カ月）の売上高は前年同期と比べ約4割減少の1,603百万円、営業利益は販売数量減に伴う生産量の減少による固定費の負担増、並びに金属粉末事業における原料相場急落による収益性の悪化等を主因として208百万円の損失、経常利益は215百万円の損失、四半期純利益は142百万円の損失となりました。

(注) 平成21年3月期第1四半期及び第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成21年3月期第1四半期決算短信（平成20年7月30日開示）及び第2四半期決算短信（平成20年10月30日開示）をご参照下さい。

事業セグメントごとの業況は次のとおりです。

[アンチモン事業]

原料であるアンチモン地金の国際相場は第2四半期までトン当たり\$6,600を超える高水準で推移していましたが、第3四半期より下げ基調に転じ、12月には月平均で\$4,463まで下落しました。

同事業の当第3四半期の販売数量は各グレードとも軒並み不調で1,204トンに終わり、前年同期比38%減少となりました。

その結果、製品販売価格は第2四半期の原料相場の上昇を反映し、主要製品の三酸化アンチモンで前年同期と比べ若干アップしたものの、販売数量の減少が響き売上高は964百万円で、前年同期比約35%の減少となりました。営業利益は、売上高の減少に加え、原料代・加工費のアップ、設備増強に伴う減価償却費の増加、エネルギーコストのアップ等により売上原価が上昇し、8百万円の損失計上となりました。

[金属粉末事業]

同事業製品は、最終製品として自動車、デジタル家電等景気変動に左右される耐久消費財に多く使用されることから、世界的な不況により当第3四半期は同事業を営む日本アトマイズ加工(株)を連結子会社化して以来初めての営業赤字を余儀なくされました。その要因は主に次の二つであります。第一に、自動車関連産業向けを始めとして販売数量が減少したことがあげられます。当第3四半期の月間平均販売数量は148トンで、対前年同期比30%の減少となりました。第二に、原料である非鉄金属相場の急落による収益性の大幅な悪化があげられます。

その結果、当第3四半期の売上高は644百万円で、前年同期比約43%の減少となり、営業利益は201百万円の損失計上となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、たな卸資産の増加がありましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金及び投資有価証券の減少等により前連結会計年度末に比べ396百万円減少の6,869百万円となりました。

負債につきましては、日本アトマイズ加工(株)の完全子会社化等に伴う借入金及び負ののれんの増加等により、前連結会計年度末に比べ623百万円増加し、3,414百万円となりました。

純資産につきましては、日本アトマイズ加工(株)の完全子会社化等による少数株主持分の減少及び四半期純損失等により1,019百万円減少し、3,454百万円となり、自己資本比率は50.3%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

昨年秋よりの全世界を巻き込んだ金融市場の混乱が実体経済に波及し、あらゆる産業で生産調整の実施を余儀なくされております。その影響を受けて当社グループの事業におきましても上記のとおり販売数量が大きく減少しております。

この状況は当分続くと見られ、更にアンチモン事業、金属粉末事業とも原料価格の下落に伴う製品販売価格の落ち込みが想定されるため、今後の販売動向、製品市場価格の動向を勘案し、平成20年10月30日付第2四半期決算短信にて開示しました通期業績予想をこの度修正しております。なお、両事業とも収益性の低下に伴う製品・原材料の棚卸資産の評価下げが見込まれるため、それを織り込んだ業績予想としており、それが当期純利益の更なる悪化の一因となっております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は56,232千円減少し、税金等調整前四半期純利益は、69,022千円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	640,702	1,045,404
受取手形及び売掛金	1,433,193	1,871,233
有価証券	1,000	1,000
製品	954,084	662,392
半製品	177,021	172,065
原材料	965,352	632,061
仕掛品	95,251	195,440
その他	210,301	66,067
貸倒引当金	△4,974	△5,972
流動資産合計	4,471,932	4,639,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	678,542	686,289
機械装置及び運搬具(純額)	503,830	573,905
土地	812,378	812,378
その他(純額)	109,724	60,568
有形固定資産合計	2,104,475	2,133,141
無形固定資産	23,633	21,553
投資その他の資産	269,549	471,545
固定資産合計	2,397,657	2,626,240
資産合計	6,869,590	7,265,933
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	741,587	850,486
短期借入金	1,122,000	671,250
未払法人税等	4,473	155,186
賞与引当金	40,802	92,386
その他	235,635	273,801
流動負債合計	2,144,498	2,043,111
固定負債		
長期借入金	622,000	300,000
退職給付引当金	313,826	282,051
その他の引当金	28,687	66,792
負ののれん	135,729	2,253
その他	169,859	96,863
固定負債合計	1,270,101	747,959
負債合計	3,414,600	2,791,071

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	1,966,434	2,151,186
自己株式	△78,272	△20,187
株主資本合計	3,471,014	3,713,851
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△16,024	7,797
少数株主持分	—	753,213
純資産合計	3,454,990	4,474,862
負債純資産合計	6,869,590	7,265,933

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	6,457,407
売上原価	5,802,317
売上総利益	655,089
販売費及び一般管理費	577,074
営業利益	78,015
営業外収益	
受取配当金	2,325
負ののれん償却額	24,616
その他	7,233
営業外収益合計	34,175
営業外費用	
支払利息	25,305
為替差損	12,617
その他	4,037
営業外費用合計	41,959
経常利益	70,230
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1,005
特別利益合計	1,005
特別損失	
固定資産除却損	6,520
たな卸資産評価損	12,790
投資有価証券評価損	180,000
ゴルフ会員権評価損	10,000
過年度損益修正損	1,560
特別損失合計	210,870
税金等調整前四半期純損失(△)	△139,634
法人税、住民税及び事業税	4,048
法人税等調整額	△53,590
法人税等合計	△49,542
少数株主利益	3,883
四半期純損失(△)	△93,975

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	1,603,987
売上原価	1,621,343
売上総利益	△17,356
販売費及び一般管理費	191,423
営業損失(△)	△208,779
営業外収益	
受取配当金	472
負ののれん償却額	8,262
受取補償金	2,810
その他	1,137
営業外収益合計	12,682
営業外費用	
支払利息	8,228
為替差損	9,269
その他	1,715
営業外費用合計	19,214
経常損失(△)	△215,311
特別利益	
貸倒引当金戻入額	903
特別利益合計	903
特別損失	
固定資産除却損	675
ゴルフ会員権評価損	10,000
過年度損益修正損	1,560
特別損失合計	12,235
税金等調整前四半期純損失(△)	△226,643
法人税、住民税及び事業税	△74,188
法人税等調整額	△9,793
法人税等合計	△83,982
四半期純損失(△)	△142,660

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△139,634
減価償却費	209,988
負ののれん償却額	△24,616
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△998
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△51,584
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	31,774
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△38,105
受取利息及び受取配当金	△2,593
支払利息	25,305
為替差損益 (△は益)	25
有形固定資産除却損	6,520
投資有価証券評価損益 (△は益)	180,000
ゴルフ会員権評価損	10,000
売上債権の増減額 (△は増加)	438,039
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△529,749
仕入債務の増減額 (△は減少)	△108,898
その他	10,586
小計	8,560
利息及び配当金の受取額	2,601
利息の支払額	△23,021
法人税等の支払額	△240,905
営業活動によるキャッシュ・フロー	△252,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△1,000
有価証券の償還による収入	1,000
有形固定資産の取得による支出	△164,056
有形固定資産の除却による支出	△9,135
無形固定資産の取得による支出	△4,182
子会社株式の取得による支出	△575,700
投資活動によるキャッシュ・フロー	△753,074
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	380,000
長期借入れによる収入	560,000
長期借入金の返済による支出	△167,250
自己株式の取得による支出	△58,085
配当金の支払額	△90,775
少数株主への配当金の支払額	△22,725
財務活動によるキャッシュ・フロー	601,163
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△404,701
現金及び現金同等物の期首残高	1,045,404
現金及び現金同等物の四半期末残高	640,702

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	アンチモン事業 (千円)	金属粉末事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	964,340	639,646	1,603,987	—	1,603,987
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	4,645	4,645	△4,645	—
計	964,340	644,292	1,608,633	△4,645	1,603,987
営業利益又は営業損失(△)	△8,436	△201,724	△210,160	1,380	△208,779

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	アンチモン事業 (千円)	金属粉末事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	3,672,470	2,784,937	6,457,407	—	6,457,407
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	20,035	20,035	△20,035	—
計	3,672,470	2,804,972	6,477,443	△20,035	6,457,407
営業利益又は営業損失(△)	80,125	△5,798	74,326	3,688	78,015

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日～12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日～12月31日)

当社グループは、本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店等がないため該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日～12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日～12月31日)

当社グループの海外売上高は、連結売上高に占める割合が10%未満でありますので、記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	7,447,557
II 売上原価	6,180,242
売上総利益	1,267,314
III 販売費及び一般管理費	597,110
営業利益	670,203
IV 営業外収益	
受取利息・配当金	2,384
その他	6,222
営業外収益合計	8,607
V 営業外費用	
支払利息	19,400
その他	6,306
営業外費用合計	25,707
経常利益	653,103
VI 特別利益	594
VII 特別損失	654
税金等調整前四半期純利益	653,043
法人税等	276,849
少数株主利益	136,481
四半期純利益	239,713

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	653,043
減価償却費	170,810
のれん償却額	21,254
負ののれん償却額	△1,689
退職給付引当金の増加額	8,358
役員退職慰労引当金の増加額	9,081
賞与引当金の減少額	△50,195
役員賞与引当金の減少額	△6,600
貸倒引当金の増加額	368
受取利息及び受取配当金	△2,384
支払利息	19,400
売上債権の増加額	△120,232
たな卸資産の減少額	86,101
仕入債務の増加額	24,654
その他	8,823
小計	820,794
利息及び配当金の受取額	2,388
利息の支払額	△16,354
法人税等の支払額	△330,692
営業活動によるキャッシュ・フロー	476,135
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△1,000
有価証券の償還による収入	1,000
有形固定資産の取得による支出	△97,769
有形固定資産の売却による収入	101
無形固定資産の取得による支出	△843
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,511

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額 (千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額	10,000
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△351,875
自己株式の取得による支出	△3,259
配当金の支払額	△77,897
少数株主への配当金の支払額	△49,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	△373,026
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加額	4,596
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	1,058,231
Ⅶ 現金及び現金同等物の期末残高	1,062,828

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

	アンチモン事業 (千円)	金属粉末事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,129,497	3,318,059	7,447,557	—	7,447,557
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	21,566	21,566	△21,566	—
計	4,129,497	3,339,625	7,469,123	△21,566	7,447,557
営業費用	3,950,348	2,852,825	6,803,173	△25,819	6,777,353
営業利益	179,149	486,800	665,950	4,253	670,203

〔所在地別セグメント情報〕

当社グループは、本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店等がないため該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当社グループの海外売上高は、連結売上高に占める割合が10%未満でありますので、記載を省略しております。

6. その他の情報

該当事項はありません。